

かてきょー通信

令和6年度第3号

八代市
家庭教育学級

今年度も大変お世話になりました！！

今年度も残りわずかとなりました。1年間各学級で活動を行っていただき、ありがとうございました。生涯学習課の活動としましては、5月に「令和6年度家庭教育学級運営委員研修会」、11月に「岸信子さん講演会in家庭教育学級」を開催しました。また、様々な学校や保育園、幼稚園にお邪魔し、くまもと「親の学び」プログラムの進行役を務めさせていただきました。各学級ではそれぞれ特色のある活動を行っていただき、保護者の皆さんの学びの場となったことと思います。

今回は今年度最後の「かてきょー通信」ということで、活動の一部をご紹介します。



代陽小学校
「親の学び」プログラム

11月28日（金）に、木本芳照社会教育指導員を迎え、反抗期についての「親の学び」プログラムを行いました。子どもの反抗期を成長のチャンスと捉え、参加をされた保護者の各家庭で起こる自己のアクションについて話し合うことで、良い解決策や解決の糸口になり、保護者同士の在り方や、家庭での心配や緊張をほぐすことができました。

（代陽小学校 研修委員長）

11月18日（月）に、橋本有沙さんを講師として迎え、「骨盤矯正withピラティス」を行いました。ピラティスの動きで自然と骨盤が整えられるという内容で、保護者の皆さんと一緒に楽しみながら、日頃の家事や育児で疲れた体をほぐすことができました。「いた〜い」「これ以上曲がりませ〜ん！」など、悲鳴をあげつつも、笑いながら楽しく交流する機会となりました。

（金剛みどり保育園 園長）



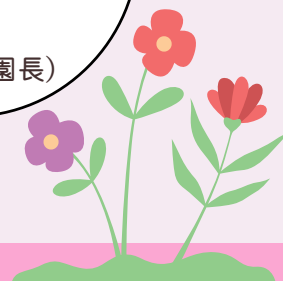
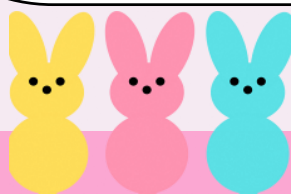
金剛みどり保育園
骨盤矯正 with ピラティス



麦島幼稚園
ステキな写真を撮るポイント

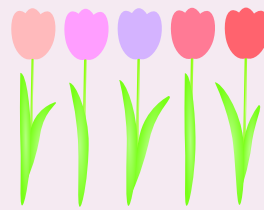
6月14日（金）に、山河ルミ子さんを講師として迎え、スマホを使って素敵に写真を撮るポイントを教えていただきました。技術面だけでなく、日頃から被写体（子供）と信頼関係を深めておくことで、表情豊かな写真が撮れることを教えていただきました。

（麦島幼稚園 園長）





小学生の反抗期



厳しい寒さも少しずつ和らいできましたね。もうすぐ今年度も終わり、入園入学進級のシーズンになります。今年度保護者の皆様は我が子の成長をゆっくりと見つめることができましたか。この1年でわが子が「反抗期に入ったかな？」と感じた保護者の方もいらっしゃるかもしれません。忙しい日々の中で子どもの反抗期を迎えると余裕がなくなってしまうかもしれません。今回はそんな保護者の皆さんに読んでいただきたい内容です。

～反抗期の子どもへの接し方～

○根掘り葉掘り聞かない

子どもが「何だかいつもと違う？」と感じた時に、すぐに「どうしたの？」と聞いてませんか。自分で解決することも自立への一歩です。根掘り葉掘り聞かずにそっとし、見守ってあげましょう。でも、明らかにいつもと違うときは、すぐに声をかけてあげてくださいね。

○親は聞き役！

小学校高学年でもまだまだ親には甘えたいときもあります。子どもが何か話したそうにしているときは、アドバイスをするよりも聞き役に徹しましょう。親が「うんうん」と聞いてあげるだけで、子どもはスッキリした、と感じてくれるかもしれませんね。

○気分のムラがあることを知っておく

昨日と今日で言っていることや機嫌が違って、おおらかに受け止めてあげてください（と言ってもイラっとしてしまうかもしれませんが・・・）。子どもから「不安定な態度を安心して出せる相手」と思われているのかもしれませんが、反抗期の間は「いつまで続くんだろう」と途方に暮れてしまうかもしれませんが、ずっと続くものではないので、そんな子どもとの時間をこっそりと楽しんでみてください。

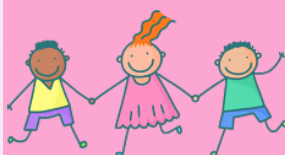
「子育て四訓」

- 一、乳児はしっかり肌を離すな。
- 一、幼児は肌を離せ。手を離すな。
- 一、少年は手を離せ。目を離すな。
- 一、青年は目を離せ。心を離すな。

「子育ての心得」として知られる「子育て四訓」をご紹介します。これを提唱されたのは、山口県下関市の教育者の方です。子どもの発達段階に比例して、親と子どもの距離感を離していくこと。そんな親としてのスタンスをわかりやすい言葉で表現されています。厚生労働省の調査によると、「幼年」は0～4歳、「少年」は5～14歳、「青年」は15～24歳という区切りにすることが多いようなので、小学生の時期は手を離す時期となります。寂しさを感じることもあるかと思いますが、6年間をかけて徐々に手を離し、子どもたちの自立を支えていきましょう。

編集者後記

家庭教育学級の担当になり、2年が経ちました。この2年間で「親の学び」プログラムを行う前に保護者の皆さんの心をほぐすレクリエーション「アイスブレイク」の進行役を学校や保育園、幼稚園で経験させていただきました。保護者の皆さんの笑い声を聞き、笑顔を見ることができ、一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました♪



参考URL

- 「付属山口大学教育学部付属山口小だより」
<https://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yamasyo/07oshirase/20200701.pdf>
- 「学研教室」
<https://www.889100.com/column/column143.html>

発行・編集

八代市教育委員会 生涯学習課

0965-30-1115

syogai@city.yatsushiro.lg.jp